



この会報は、平成 28 年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて製作しました

平成 29 年 3 月 1 日 (水) 発行 (第 24 号)



あなたの心に寄り添う 仙台傾聴の会

# 傾聴だより

企画・発行  
NPO法人仙台傾聴の会  
代表 森山 英子  
携帯 090-6253-5640

## 全体会開催 100名集う

(於：仙台福祉プラザ H・28・12・6)



毎年恒例の全体会を平成 28 年度は仙台中支部が中心となり、進行しました。30分程の各支部ミニ定例会の後、森山代表理事の挨拶に続いて、板橋副代表理事指導のもと「皆で歌いましょう」と参加会員 100 名が大合唱しました。「リンゴの歌」の時は作曲された頃の時代背景なども説明があり、高齢者施設の方々はこのような懐かしい歌は特に笑顔で歌っていたことを思いだし、各支部で行う傾聴カフェや茶話会では今後も必要なものと改めて実感しました。

昼食後はグループワークを行い、今回は同期入会の会員が 5 人グループを作り、支部は違うが経験、悩みは共通していることがわかり、お互いにうなずきながらの話し合いは貴重な時間でした。

グループワーク・テーマとして次の 3 項目。

1. 活動して良かったこと。
2. 活動して困った事。
3. 今後活かしていくこと等。

その後グループ毎の発表があり、2分以内の発表にはどのグループも時間をオーバーし、焦ったり、まとまりがつかなくなったりしましたが、そこは会員同士の笑いの中で楽しい意見交換の場となりました。

このグループワークの中で話し合ったことなどを参考に、今後各自の傾聴活動に活かして頂ければと思います。



NHK「てれまさむね あの日を胸に」 (H28・10・14 放送)

仙台中支部、大野泰代さんの傾聴活動の様子がNHKテレビで紹介されました。12・6の全体会にその時の感想をご本人がお話されました。「被災して石巻から引っ越しをしてきたが、傾聴の時はそのことは隠していた。放映後、やはりみていた方もおり、その後の傾聴では自分からも同じ目線で接することが出来るようになりました。

また取材の時、高齢者施設、復興住宅へもカメラが入りましたが皆さん快く取材を受け入れて下さり、感謝しています。」

## 明るく楽しく南支部

今月号は仙台南支部を紹介しま



仙台南支部は、太白区を中心に会員 42 名（女性 32 名、男性 10 名）で、施設 6 ヶ所、復興関係 4 ヶ所、地域カフェの手伝いを 2 ヶ所、個人傾聴等の活動を続けています。「傾聴」をやってみようと思った初めての気持ちを大切に、「傾聴活動」を通しての出会いや、素晴らしい感動に浸りながら頑張っている日々です。

活動後の振り返りを通し仲間同士の支え合いを大事にしています。

定例会では気軽に話し合える雰囲気を中心に、参加して良かったと思える場にしたいと願っています。時には会終了後、有志で昼食会をすることも会員の親睦が深まるひと時です。

認知症のグループ傾聴では一緒に歌を唄うことで笑顔が広がる一場面も。写真等の切り抜き帳を使った創意工夫で皆さんの脳活性化が促されることも。

会員が一人でも多く活動してくれることを願っていますが、それ以上に今活動している会員が、明るく楽しく傾聴を続けていけるよう望んでいます。

仙台南支部支部長 新穂昌幸 寄稿



新穂支部長（中央）と福土副支部長（右）

## 新会員に聞く（28 年度入会）

会に入り、先輩方に温かく迎えていただき、また仲間も沢山でき、ともに活動できることが楽しく嬉しいです。（中支部 大嶋静江）

会員ひとり、ひとりが目的を持って活動していると感じ尊敬しています。私は気負わず、自然体で長く続けたい。（北支部 篠原美智子）

はじめての方と話をするのが楽しかった。経験を積んで傾聴カフェで活動してみたい。（北支部 佐々木孝）

人の話を聞くのは好きでした。傾聴して、ためになる話は自分の世界が広がり、同時に会員同士の交友関係も広がりました。改めて話を聞くということが勉強になると実感しています。

（名取支部 佐々木利子）

実際活動してみると、自信がなくなり自分は向いていないのではと思ったりする。先輩の皆さんがとてもアクティブに動いていると感じた。それからお茶会に参加される方、そして会員の皆さんには、色々な考え方の人がいるのだと、改めて思いました。（名取支部 赤間美恵）

講座を受けた時と違い実際活動すると、高齢者施設での傾聴の場合、お話された方々のお一人、お一人それぞれの人生を聴くことになるが、そのことがとても貴重で勉強になります。（南支部 鈴木淳子）



「より良いボランティアをすすめる為に」

講師：尚絅学院大学教授 水田恵三氏



会員参加者 47 名が熱心に水田先生の講義に耳を傾けた 2 時間でした。

特に傾聴する際の時々「沈黙」という戸惑う場面に対して、グループごとに体験談や対処法など話し合いました。

講義後、参加者の感想です。

沈黙をネガティブととらえないで「大切なものの一つと考える」ということを聞きほっとしました。

「沈黙をプラス思考で考える」そして相手の方の様子をしっかりと見て、沈黙を大切にしたいと思う。

多角的な視点から検討、追求でき大変有意義でした。男性との会話、女性との会話には相違点があるという事に改めて納得した。

水田先生の講座はいつも傾聴の実践に繋がりと、役立つ内容は今後の活動に取り入れていきたいと思えます。次回にも期待する声が会員の皆さんから聞こえてきました。

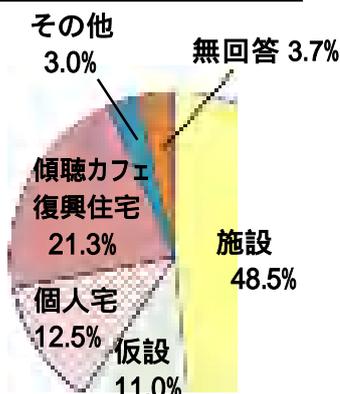


水田先生の講義

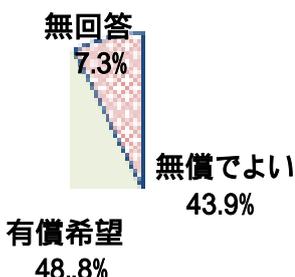
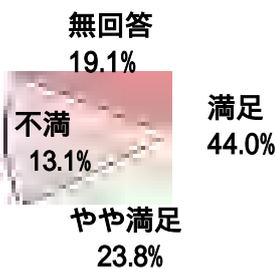
平成28年11月実施 会員アンケート  
(回収率39.1% 設問抜粋掲載)

現在の活動状況と会の今後の在り方を考察する有意義な回答となりました。活動の満足+やや満足67.8%は、傾聴活動への高い満足度と評価したい。交通費希望が83.4%と圧倒的に多い結果は、活動費についての裏付けにもつながる数字である。

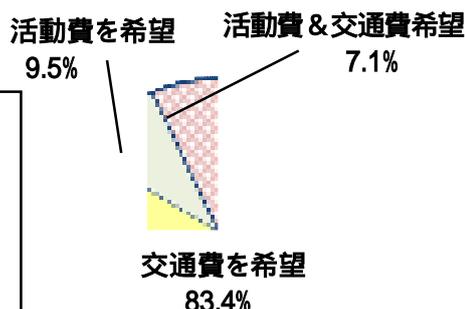
現在の活動状況



活動の満足度



活動費と内訳について



平成29年5月期

『傾聴ボランティア養成講座』

日程：1日目 5月17日(水)  
2日目 5月24日(水)  
3日目 5月30日(火)

会場：仙台市福祉プラザ

受講料：6,000円  
(お振込み頂いた受講料は返金致しません)

定員：30名程度

修了証：3日間全過程出席の方へ

持ち物：筆記具、昼食

申込先：NPO法人仙台傾聴の会  
090-6253-5640

または講座チラシ裏面 fax・e-mail  
(受講申込み3日以内にお振込みお願いします)

ゆうちょ銀行 02220-8-134520  
詳細は別途発行している、講座チラシ・ホームページをご参照下さい。

# NPO法人仙台傾聴の会の ふれあい電話サービス

定期的にお電話します  
(通話は無料です)

## 電話でお話ししませんか？



外出しなくても、自宅で気軽にお話ができます。聴いてほしいこと、誰かと繋がりたい時、ありませんか？話すことは脳が活性化し、心が軽くなります。安否確認にもなります。あなたの声を聴きたい、そう思うメンバー（研修を積んだメンバー）が、毎月1、2回定期的にお電話します。（電話、住所の登録をお願いします）また、自宅に伺っての話し相手、散歩の同行、買い物支援などもご相談に応じます。

まずはお電話ください。

# 090-6253-5640

### 会員募集

仙台傾聴の会のさまざまな事業や活動は、会員の方々の「誰かの役に立ちたい」という情熱と努力によって成り立っています。仙台傾聴の会の趣旨に賛同し、活動とともにできる方、または、応援して下さる方を募集しております。

**正会員**（傾聴ボランティアとして活動して頂ける方）  
会費：3,000円/年（ボランティア保険を含む）  
**賛助会員**（資金面で援助して下さる方）  
会費：3,000円～/年 個人一口  
5,000円～/年 団体一口  
NPO法人仙台傾聴の会までお問合せください。

**傾聴サロン（個別対面相談）無料**  
いずれも10時～15時

仙台市福祉プラザ 第1土曜日。岩沼市総合福祉センター第3水曜日。名取市市民活動支援センター第3日曜日。塩釜市一番館、または旧公民館第4日曜日  
(要予約 090-6253-5640)

### 編集後記

～春は名のための風の寒さや～  
と口ずさみながら、暖かい日差しの中、新しい夢に向かって歩き出しくなれます。29年度も「傾聴だより」をよろしく申し上げます。

編集スタッフ

(千谷・岩崎・今野・嶋脇)

### 電話での傾聴も受け付けています



ベテランの傾聴ボランティアが対応します。個人情報は守ります。ひとりで悩まず、お電話ください。

080-3199-4481

NPO法人仙台傾聴の会 代表理事 森山 英子  
名取市大手町五丁目6-1 名取市市民活動支援センター  
090-6253-5640 / Fax 022-343-9705  
Eメール moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp  
ホームページ <http://sendaikeicho.web.fc2.com/>  
ブログ <https://kacco.kahoku.co.jp/author/sendaikeicyou>